

「生成AIが期待外れに 終わる理由」 — なぜ社 内にAIは定着しないのか？

導入企業の8割以上が直面する
「ナレッジギャップ」という名の壁。

「定着しない」



ツールは導入された。しかし、誰も使っていないのが現実。

多くの企業が直面する課題：「期待通りのアウトプットが出せず、自己流で終わってしまう」

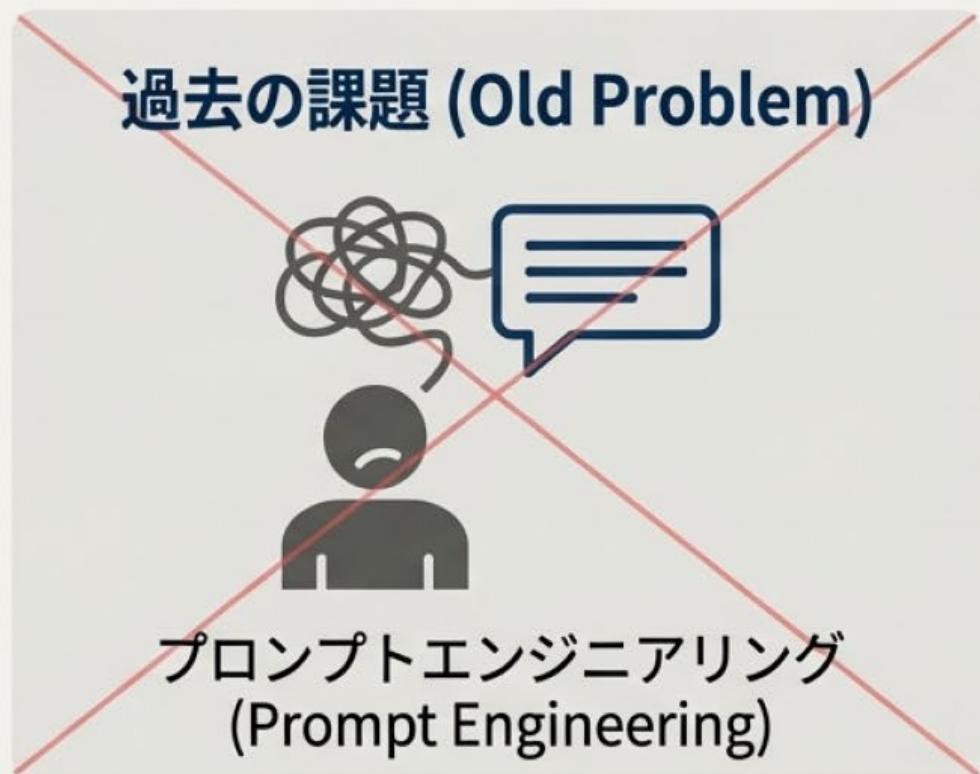
業界の現実：一般的なAIツールの定着率は20%を下回ることが多い。

User Engagement



問題は「プロンプトの書き方」ではなかった。

パラダイムシフト：AIはかつてないほど賢くなった。GPT 5の知能はIQ145に相当するとも言われ、これは東大生の平均IQ（約130）をも上回るレベル。そのため、細かい「書き方のテクニック」はもはや本質的な課題ではない。



現在の現実 (New Reality)



IQ 145+ のAI

AIの能力を阻害する本当の犯人：「ナレッジギャップ」

我々は持っているが、AIは持っていない知識の断絶。

「いいアウトプットが出ない時は、常にナレッジギャップを疑うべき」



例：社内のベテラン社員は、資料作成を依頼された際、過去の類似案件、上司の好み、会社の暗黙のルールといった膨大な「文脈」を無意識に活用する。AIにはこの文脈がない。

求められるスキルの進化：コンテキストエンジニアリングへ

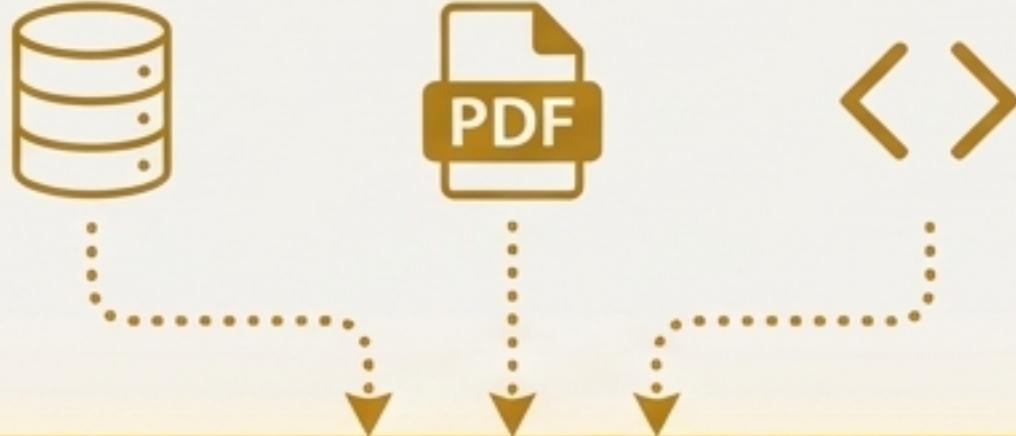
**プロンプトエンジニアリング
(Prompt Engineering)**

一つの指示（プロンプト）を最適化する技術。（「指示」の最適化）



**コンテキストエンジニアリング
(Context Engineering)**

AIに必要な情報や外部システムとの連携を含めた、AIエージェントシステム全体の振る舞いを最適化する、より大きな概念。（「システム全体」の最適化）



AIに「プロンプトを書かせる」という逆転の発想。



慣れフルチャット

プロンプトを挿入してください。

↗ プロンプト作成を生成する

慣れフルチャット (Nare-full Chat)

人がプロンプトを書くからナレッジギャップが生まれる。

ならば、AIに業務で使えるプロンプトを生成させればいい。

プロンプト作成サポート

「ナレッジギャップを埋める、法人向けAIチャット」

たった一言の指示が、専門家の依頼に変わる瞬間。

BEFORE

「このNDAをリーガルチェックして」



結果: 再現性がなく、品質も不安定

AFTER

2

「このNDAをリーガルチェックして」

プロンプト作成サポート

あなたは経験豊富な企業法務の専門家です...
このNDAをリーガルチェックして...
・法的リスクの特定
・不利な条項の確認



結合母題

このNDAをリーガルチェックして」は、は結構警戒を惹かれる。この间隔がが毛毛差距離です。

発見された問題点

- ・ 治的リスクの特徴、锦花問題の問題点
- ・ 治的リスクの特徴、治的リスクテマツの現状が検定
- ・ 不利な意見の問題は、プロピティアウトプットを初期化した

修正案

- ・恣意リスクの心理を修正し間する事務的を修正し誤解する

結果: 誰が使っても、プロ品質のアウトプット

企業利用を前提とした、再現性と共有のための機能群。



プロンプト共有

優れたプロンプトを「利用シーン」や
コメントと共にタイムラインで共有。
俗人化を防ぎ、組織全体のノウハウを蓄積。



高精度解析

ファイルの中身をAIが理解・加工し
やすいように自動で構造化。
PDF内の画像データさえも解析可能。



複数AIモデル対応

タスクに最適なAIモデルを自動でレコメンド。
常に最高のツールで業務を遂行。

導入3ヶ月で利用率70%超え。
ある企業のAI革命。

70%

株式会社セゾンファンデックス
(Saison Fandcs Co., Ltd.)

SAISON
FANDCS

利用率：70%（従業員300名中、約200名が利用）

期間：導入後わずか3ヶ月で達成



なぜ彼らは成功できたのか？定着化を支えた3つの要因。



1. プロンプトの壁を解消

「プロンプト作成サポート」機能により、専門知識がない社員でも質の高い指示をAIに出すことができた。



2. 圧倒的な導入ハードルの低さ

ユーザー数無制限で月額4万円からという価格設定が、ROIの懸念を払拭し、全部署への展開を可能にした。



3. 手厚い導入サポート

定期的な勉強会を実施し、社員が「成功体験」を積む機会を提供。これが利用の連鎖を生んだ。

「月100時間の工数削減」—数字で見る導入効果。



月100時間 工数削減

システム部: プログラムの
コーディング等で達成



x1.5 SEO記事制作量

マーケティング: 記事経由の
流入は2~3倍に増加



80%削減 問い合わせ対応

人事・総務: 就業規則に関する
問い合わせを自動化



10~15分 議事録作成時間

全社: 1~2時間かかっていた
作業を大幅短縮

AIと共に働く新時代 「Vibe Working」へ。

- AIは単なるツールではなく、業務を
共に遂行する「分身」となる。
- AIを使いこなすことで、一人ひと
りの生産性は飛躍的に向上し、企
業力そのものの向上に直結する。

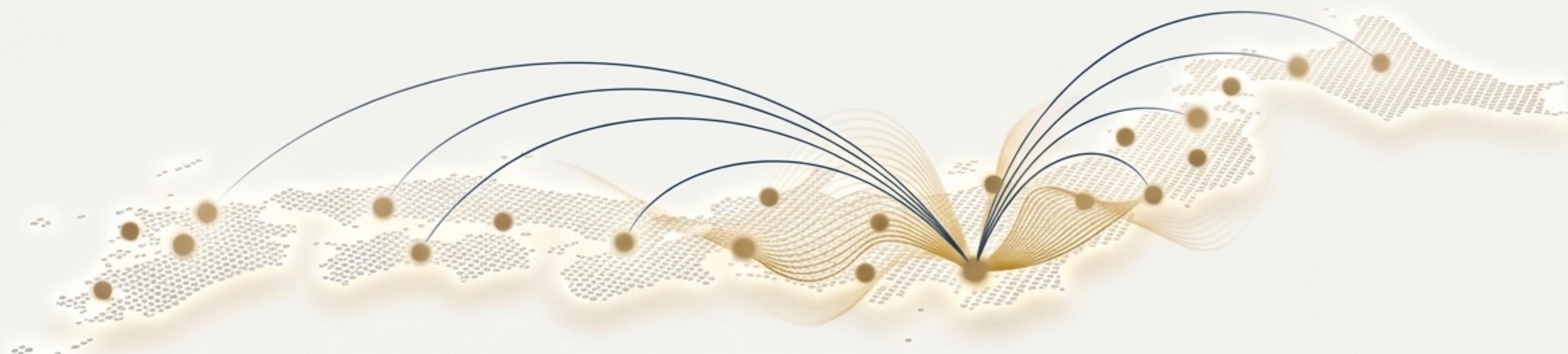


日本のAI活用を、一步先へ。

日本のすべての企業にとって、生成AI活用のハードルを下げたい。

「日本の生成AI活用は遅れている」という現状を打破し、

国全体の生産性向上に貢献する一条となりたい。



AI導入を成功に導くためのロードマップ。

1

課題の再認識 (Recognize the Real Problem)

本当のボトルネックはプロンプトの「書き方」ではなく、AIとの「ナレッジギャップ」であると理解する。

2

的確な解決策の導入 (Implement the Right Solution)

AIにプロンプト作成をサポートさせ、誰でも簡単に文脈を伝えられる「慣れフルチャット」のようなツールを導入する。

3

効果の実証と拡大 (Realize and Scale the Impact)

高い定着率と、工数削減や生産性向上といった具体的なROIを実現し、全社的な活用へと繋げる。

生成AIのポテンシャルを、 あなたの組織で解放する。



「まずは資料請求から」

「導入事例やデモのご相談はこちら」

www.clinks.co.jp/nare-full-chat

contact@clinks.co.jp